

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ゴビーPLUS		
○保護者評価実施期間	2025年 9月10 日		～ 2025年 9月29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年9 月 1日		～ 2025年9 月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10 月8 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士・看護師・理学療法士・作業療法士など職種で障害特性に応じた支援を実施を目指している。	日々の支援に置いて、児童の障害特性に配慮した支援方法を提示し、職員全体で話し合い実施しています。支援会議にて課題の共通理解・問題点の提示など個々の支援者が自信を持って支援にあたる事が出来る様にしています。	引き続き、スタッフ間での話し合いや、子ども達の「その子らしさ」を追求できるように、また楽しくデイサービスで過ごしてもらるように努めます。
2	・災害訓練の定期的な実施	災害時の緊急連絡として、「災害伝言ダイヤル」を活用できるように保護者様にもカードをお渡ししています。年間計画としては、月1回、地震・火災・不審者等の災害訓練を実施しています。また、年2回は消防訓練(自主訓練も含め)を実施し、地域の消防署から直接の指導、助言をもらっている。	引き続き災害訓練を実施し、利用者さまの安全第一に考え、行動していきます。
3	・他の事業所との交流を常に心がけ風通しのいい環境作りを職員全体で心がけている	「重症児連絡会(重心の会)」を通じて保護者様了解のもと、情報共有を心がけ、ご利用者様のお困りごと等に等に対応しています。また、重心の事業所だけでなく、同区内の事業所との交流にも積極的に参加し、情報交換しています。	事業所間での交流・研修を通じて、個々のスキルアップを心がけています。また、地域の事業所会議には積極的に管理者以外の職員に参加してもらい、交流の場としての経験を積んでもらっています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の放課後クラブや児童館との交流	地域の児童との交流は時間的に難しいと思っています。近隣のイベントには可能な限り参加できる体制作りはしています。しかし、参加できる内容が少ないうえ、会場などではバリアフリーでない場合がほとんどで、車いすや、バギーでの参加が難しく、今後も交流は困難であると感じています。	催しに参加出来なくても、散歩、公園など地域の児童と触れ合える機会は積極的に作っていくつもりです。地域の公共施設でのイベントにも積極的に参加していきます。
2	・父母会や保護者会等はありません。またコロナ以降ご兄弟様が参加できるようなイベントは実施できていません。	保護者様が交流できるように年度末に茶話会を実施したり、一年間の活動を動画にしたものを事業所に見に来ていただく機会を設けています。体験型の防災訓練も計画しご両親に参加して頂くよう声をかけさせて頂いております。ご兄弟様が参加できるようなイベントができていません。	コロナなどの感染症の蔓延の観点から、父母会や保護者会は実施出来ていませんが、今後は保護者様のニーズもふまえ、時期を検討し、企画していきたいと考えています。また、ご兄弟関しても気軽に参加できる機会を設けていきます。
3	・保護者様に周知して頂く、各マニュアルの整備	定期的なマニュアルの見直しと整理が出来ていないことが要因で、それに伴って、保護者様へお渡ししている書類等の見直し、定期的な整理が出来ていません。	各マニュアルに関しては、係・委員会で改善点を検討。保護者様へは、随時、手渡ししているマニュアルの見直しを実施していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ゴーピーPLUS
------	-------------------

公表日 2025 年 10 月 3 日

利用児童数 1 名

回収数 1

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		100%				ご利用者様の状況によって室内のレイアウトを配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				100%		支援プログラムに沿って、個々の障がい特性にも留意し支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		100%				支援計画をお渡しする際に、家族様には説明を行っています。再度、ガイドラインを見直し、個々の支援内容について保護者様には丁寧に説明をしていきたいと思えます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		100%				地域の幼稚園・保育所との交流はご利用時間の相違により、今後も不可能だと考えます。地域交流の一環として、ボランティアさんとの交流、イベントへの参加は引き続き実施していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。				100%		契約時に「重要事項説明書」を基にご説明させて頂いています。金額の変更時は別紙にてご説明しています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				100%		保護者様からのご意見を常に受け入れられる体制作りを行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%					

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				100%		各マニュアルは作成しています。月1回は様々な緊急時に備えての想定訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				100%		年間の安全計画を作成しています。個々の障害特性についての安全確保は職員間で話し合っ留意しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				100%		事故はもちろんですが、打撲、擦過傷などの場合でもすぐに保護者様へご連絡させて頂き対応するよう心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ゴビーPLUS		公表日 2025年10月1日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71.40%	28.60%	<ul style="list-style-type: none"> その日その日で使用しない座位保持等は敷地内に片づけている 整理整頓されている 	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが狭い、食事スペースが区切れない 座位保持の置き場が欲しい 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 医療ケア児利用の際は、看護師の休みが被らないように調整している 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の数がもう少し多ければより良い配慮等が出る カリキュラム内容に寄って人員配置を見直 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85.70%	14.30%	<ul style="list-style-type: none"> 必要な物は段ボール等で作成している(足台等) 	<ul style="list-style-type: none"> 玩具等分かりやすく片付けできたらいい、どのように片づけたらいいのかわからない 配慮はしているが、視覚不利のある児等に特別配慮した環境には出ていない 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 毎日掃除を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 座位保持椅子の整理整頓 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71.40%	28.60%	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて使用可能になっている 	<ul style="list-style-type: none"> スペースの問題で難しい 突発的な事に対しての対応できる部屋の確保 	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 反省会を通して次に生かしている 月1回の職員会議を実施 業務前のミーティングを実施 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 参観や親が参加できる行事の際はその都度連絡をしている。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 管理者と話す機会がある。意見が出る環境だと思う 出来る限る個人の意見でなく皆で話し合う事を心がけている 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	42.90%	<ul style="list-style-type: none"> 社労士を通じて業務改善へのアドバイスはもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> 検討はしているが、実質的に必要に迫られていない 	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 勉強会などで他事業所との関わりを持つ機会がある 今後も研修等に積極的に参加したい 学びたい気持ちを尊重するようにしている インスタグラムに公表している 			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画書の立案を行っている 色々な職種の意見が組み込まれている 		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 支援計画を基にスタッフ全員で会議をしている 会議で共有が出来ている 		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 会議で話し合い、共有・実施が出来ている 		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 多職種がそれぞれで気が付いた点を記録できている 評価の偏りが生じないように注意している 		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議にて職員間で意見交換 		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	85.70%	14.30%	<ul style="list-style-type: none"> 専門的要素が必要な計画立案は、専門部門のスタッフが介入して立案できている 原案は保育士が中心で行っているが、多職種の意見も参考にしている 季節に応じた活動等が出てきている お出かけやお楽しみ会の実施 子ども達の意見も大切にしている 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士だけに偏っている時がある、リハビリの観点も必要だと思う 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・一日支援日には行っている(前日等に行う時もある) ・毎日朝礼時にスタッフ全員で確認出来ている	・平日の動き、入浴等の時間も決めた方がよい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・反省会の実施を行い、振り返りが出来ている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85.70%	14.30%	日々の日誌に加え、送迎時に保護者様かの情報等について記載しています。その際は、報告に留まらず職員間での共有はもちろん、改善点等についても話し合っています。	・毎日の検証が出来ていない時がある ・職員間で個々を検証するまでに至っていなかった
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		モニタリングの際は、児発管と保護者様のニーズに合わせた職員構成で対応するようにしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・必ず担当者会議には参加し、事業所で作成した資料を提示し、情報共有を行います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85.70%	14.30%	・お出かけや地域のお祭り参加で交流がある	・現在、児童発達支援者は1名で保育園には共有できていない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85.70%	14.30%	・担当者会議に参加してる	・就学前の子どもの在籍が少ない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	85.70%	14.30%	・勉強会などでの交流の際や、相談支援員に助言や状況の確認を都度行っている。 ・相談支援員を通じて行う時もある	・定期的な研修会（勉強会）の実施 ・年間研修カレンダーに予定を入れておく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57%	42.90%	・外出や散歩に出かけた際に触れ合う機会もある	・可能な限り地域イベントに参加する ・日常より図書館などの公共施設への外出を企画する
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時間に時間を取り児について、お話しする時間を確保できている ・連絡ノート、送迎時に実施	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71.40%	28.60%	研修ではないが、日常より、行事での参加呼び	・家族で参加できる行事の開催	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		常に保護者様からのご質問等についてもお応えできる様に心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・説明を行い、計画書を手渡している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・時期により計画立案した際には、親へ提出し一読いただき同意でサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	85.70%	14.30%	・茶話会、ムービー鑑賞等を通して行っている	・参加者を増やすために工夫が必要かもしれない ・時期の検討もふまえて、通年の行事として企画していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		不定期ではありますが、保護者様向けに通信を出して、日常の支援の様子をお伝えしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		細心の注意をしています。研修等で使用させて頂く写真については事前に保護者様に承諾書を頂いています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		保護者差にはご理解いただけるように努力はしています。また、ご利用者様の声を聞き入れられる様に日常のコミュニケーションには	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	85.70%	14.30%	・ボランティアを招き、交流を図っている ・地域活動に協力する意向は伝えている	・地域ボランティアを含め様々な分野での地域参加の方法を知る
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			・マニュアルは家族に共有されているのか不明 ・家族にまで周知しているかは分からない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・月に一度避難訓練の実施を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		連絡ノートを通じて、もしくは、直接ご連絡頂いて対応しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・勉強会の実施行っている ・マニュアル等が整備されている ・役員会として活動している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・拘束実施した時は、連絡帳に時間と実施を記載している	・定期的な会議を開き利用者様の成長に合わせた身体拘束の在り方を検討する